

持続可能な開発目標(SDGs) 学生フォトコンテスト 2018



募集期間

2018.5.10_{Thu} ~ 8.20_{Mon}



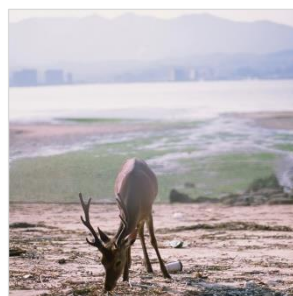
テーマ

撮ってみよう！日本で見つけたSDGs

自分の身近な場所でSDGs（持続可能な開発目標）を見つけることが、今年のコンテストのテーマです。

今年は大学生、短大生、大学院生、専門学校生に加え、高校生からの応募も受け付けます！

たくさんのご応募をお待ちしております！

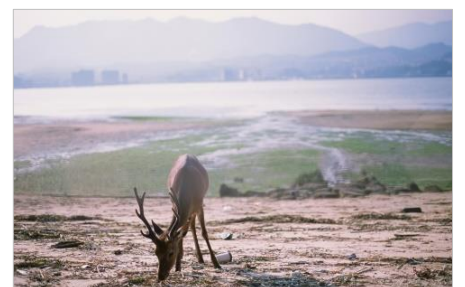
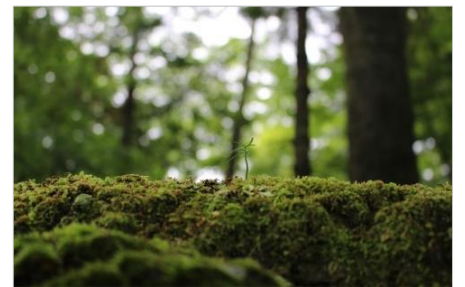


審査員 レスリー・キー（写真家）他
主催 国連広報センター、上智大学
特別協力 ゲッティイメージズジャパン、
(株)ニコン、(株)ニコンイメージングジャパン
協力 (株)シグマ、吉本興業(株)
メディアパートナー 朝日新聞社



持続可能な開発目標 (SDGs) 学生フォトコンテスト 2018

過去の入賞作品 (抜粋)



撮ってみよう！日本で見つけたSDGs

日本国内の身近な場所でSDGs (持続可能な開発目標)を見つけることが、今年のコンテストのテーマです。

「日本にはどのような課題があるのか」「そうした課題を解決するにはどうしたらいいのか」「自分ならどう行動するのか」という視点を持ち、SDGs 17のゴールから関心のあるゴールを1つ以上選び、日本国内で見つけたこと・気づいたこと、ゴール達成への思いを“写真”で表現してください。

募集要項

- 募集期間 2018年5月10日(木)～8月20日(月)
- 応募資格 大学生、短大生、大学院生、専門学校生、高校生
- テーマ 撮ってみよう！日本で見つけたSDGs
- 審査員 レスリー・キー(写真家)他
- 賞の種類 大賞(外務大臣賞)1点、優秀賞3点、入賞(若干名)

※応募は日本国内で撮影した写真に限り、1人3枚までとします。
※賞の種類は、応募内容や数により変更になる場合があります。

詳しくは、コンテストサイトをご覧ください！

<https://communityassignments.gettyimages.com/ja/community-assignments/sdgs2018/>



持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals/SDGs)



2015年9月に持続可能な開発サミットで採択されたSDGsは、地球規模の課題を解決するための目標で、2030年を達成期限としています。

あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘う、気候変動に対処するなどの17項目からなり、それぞれ具体的な行動目標や削減目標を設定しています。世界中の国々だけでなくその国に住む一人ひとりにも関係する取り組みです。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/



国連を映像で学ぶ

国連広報センターはこのたび、学校の授業で使える国連ビデオを精選し、テーマ別に分類した特設ページをつくりました。ユニセフなどの国際機関やNHKが制作した映像にもリンクを貼っています。国連に関する教育用ビデオのポータルサイトとしてお使いいただければ幸いです。

ウェブサイトはこちらから

http://www.unic.or.jp/texts_audiovisual/audio_visual/learn_videos/



「国連のしくみ」、「持続可能な開発」など、さまざまなテーマのもとで、授業で使えるビデオが満載です。

国連のしくみ

第70回国連総会：舞台の裏側に迫る



持続可能な開発目標

持続可能な開発とは？



子ども兵士

子どもの運命：
子どもの保護と国連平和維持活動（PKO）



国際連合広報センター | United Nations Information Centre
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学本部ビル8階
Tel: 03-5467-4451 Fax: 03-5467-4455





UNITED NATIONS
UNIVERSITY

世界海洋デー記念シンポジウム

日本から考えるSDG14 海の豊かさを守ろう

特別ゲストにギョ存じ！さかなクンをお迎えします！



地球上の7割の面積を覆う海。その環境や、そこに暮らす生物を守ろうと国連が定めたのが世界海洋デー(6月8日)です。2015年には、持続可能な開発目標(SDGs)に目標14「海の豊かさを守ろう」が盛り込まれ、海の環境と海洋資源の確保は、世界が取り組む共通の課題となりました。

海と人間との繊細なバランスは今、気候変動や汚染、乱獲、魚の生息環境の悪化など、様々な脅威によって大きく揺らいでいます。本シンポジウムでは、日本全国の漁業、海の生態系に詳しい東京海洋大学名誉博士のさかなクンをお迎えし、国連大学の研究者たちと共に、豊かな海を守るために私たちができることを考えます。

プログラム

- 開会の挨拶と持続可能な開発目標 (SDGs)について
沖大幹 国連大学上級副学長／国連事務次長補
- 講演1「一魚一会(いちギョいちえ)」
さかなクン 東京海洋大学名誉博士／客員准教授
- 講演2「里海とSDGs」
イヴォーン・ユウ UNU-IAS研究員
- パネルディスカッション
モデレーター 根本かおる 国連広報センター所長
パネリスト さかなクン、沖大幹、イヴォーン・ユウ

2018年6月8日(金)

16:00-18:00 (開場 15:30~)

場所:

国連大学 ウ・タント国際会議場
東京都渋谷区神宮前5-53-70

最寄駅:

地下鉄表参道駅・渋谷駅、JR渋谷駅

主催:

国連大学、国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)

共催:

国連広報センター

入場は無料です。

お申し込みは、国連大学ウェブサイトの登録フォームからどうぞ！

#もっと知りたいSDGs

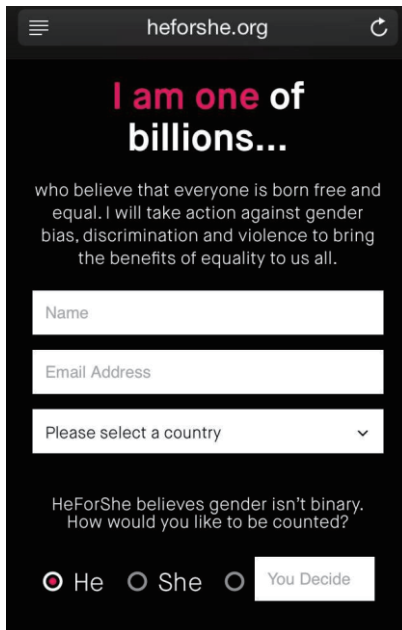
jp.unu.edu



QRコード又は <http://www.heforshe.org/> で今すぐご参加ください。

HeForShe 参加者宣誓

「私は何十億人のひとりです…すべての人が自由かつ平等に生まれたことを信じているひとりです。私は、すべての人が平等の恩恵を享受できるよう、ジェンダーに基づく偏見、差別、暴力に対して行動をとります。」



heforshe.org

I am one of billions...

who believe that everyone is born free and equal. I will take action against gender bias, discrimination and violence to bring the benefits of equality to us all.

Name

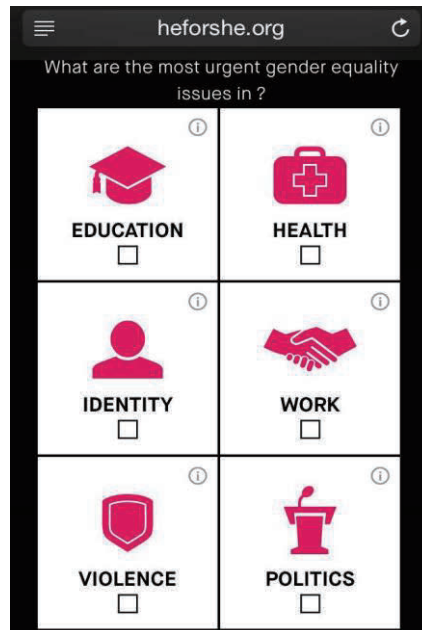
Email Address

Please select a country

HeForShe believes gender isn't binary. How would you like to be counted?







He She You Decide

1. 氏名、メールアドレス、国名を選択。「男性」、「女性」、「他」の三つの中から、ご自身のアイデンティティを選んでください。



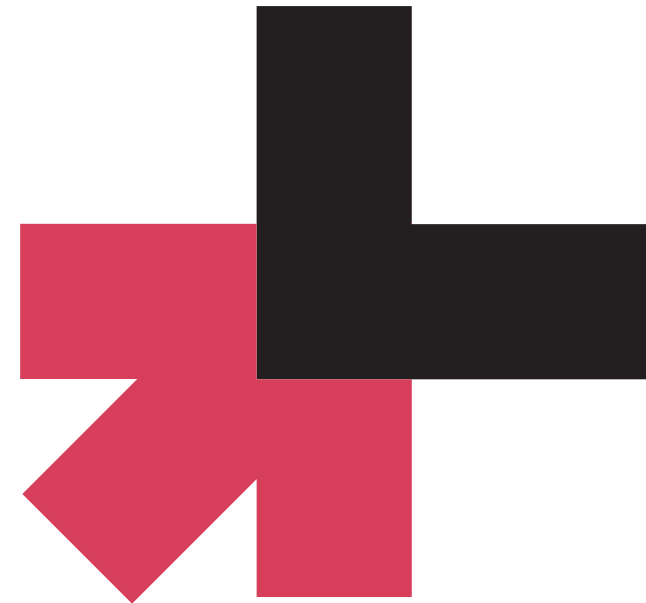
heforshe.org

What are the most urgent gender equality issues in ?

 EDUCATION <input type="checkbox"/>	 HEALTH <input type="checkbox"/>
 IDENTITY <input type="checkbox"/>	 WORK <input type="checkbox"/>
 VIOLENCE <input type="checkbox"/>	 POLITICS <input type="checkbox"/>

2. 自分の国またはコミュニティでのジェンダー平等に関する課題について重要と考えるテーマに投票してください（複数可）。

HeForShe が集めたデータを集計結果として示すことで、政府・企業・大学・個人が資源や資金を有効に活用できる手助けとなります。



HeForShe

UN Women Solidarity Movement
for Gender Equality

ジェンダー平等のために、一致団結しましょう。

HeForShe

「ジェンダー」とは？

ある時代のある社会が、そこに所属する男性・女性にとって「ふさわしい」とする役割、行動、性質など、生物学的な性差に付加された社会的・文化的な性差のこと。



ジェンダー平等への取り組みは、かつては、女性だけによる女性のための取り組みとして認識されていました。しかし、最近では、女性や女兒が直面する不平等や差別に対して、女性以外の人々も立ち上がり始めています。この機運をさらに高めるため、2014年9月にUN Women 親善大使を務める俳優エマ・ワトソン（英国）がHeForShe 運動の立ち上げを発表しました。

HeForShe は、ジェンダー平等を推進するための連帯運動であり、女性や女兒が直面している不平等や差別をなくすためには、男性を含めすべての人々が関わらなければならないという認識に基づいています。ジェンダー平等が達成されれば、多くの面ですべての人々の利益になります。ジェンダー平等とは、決められた性別役割やステレオタイプから、女性だけでなく男性をも解放することなのです。

「ジェンダー平等は女性に限った問題ではありません。それは、私自身の参加を必要とする人権の問題です。私は、女性と女兒が直面する、あらゆる形態の暴力と差別に取り組みます。」(エマ・ワトソン)



「私たちが分かち合うものは、私たちを分け隔てるものよりも強じんなのです。」

IMPACT 10X10X10

HeForShe IMPACT 10x10x10（インパクト テン・バイ・テン・バイ・テン）は、国家首脳 10 名、世界的企業の CEO 10 名および大学の学長 10 名を IMPACT Champion として選び、トップからジェンダー平等に向けて変革を促すことを目指すイニシアチブです。IMPACT Champion は、国政、企業、大学レベルにおいて、ジェンダー平等を各組織の優先課題とし、大胆かつ革新的な3つの公約を策定し、組織の内外で真の変革に取り組んでいます。日本の安倍晋三内閣総理大臣、そして名古屋大学の松尾清一総長も、IMPACT Champion の1人です（詳しくは japan.unwomen.org へ）



エマ・ワトソン UN Women 親善大使（中央左）とプムズイレ・ムランボ=ヌカカ UN Women 事務局長（中央右）を松尾清一総長（右から3番目）を含む University IMPACT Champion たちが囲んで。